

会 議	令和2年度 第1回幸田町総合教育会議 議事録
日 時	令和2年6月4日(木) 開会 午前9時 閉会 午前10時
場 所	幸田町役場 4階 第3第4委員会室
構 成 員	町 長 成瀬 敦 教育委員会 教育長 小野 伸之 教育委員会 委 員 長谷 禎子 教育委員会 委 員 山下 英雄 教育委員会 委 員 立花 千加子 教育委員会 委 員 伊藤 秀雄
欠 席 構 成 員	なし
傍 聴 者	なし
構成員以外の出席者	副 町 長 大竹 広行 企 画 部 長 藪田 芳秀 企画部次長兼企画政策課長 成瀬 千恵子 企画政策課長補佐 柴田 淳一 企画政策課主査 福島 聡人 住 民 こ ど も 部 長 牧野 宏幸 こ ど も 課 長 菅沼 秀浩 教 育 部 長 吉本 智明 学 校 教 育 課 長 内田 守 学校教育課教育指導監 池田 和博 学 校 教 育 課 長 補 佐 近藤 京子 生 涯 学 習 課 長 鴨下 直史
会議に付した案件	○意見交換 幸田町の保育園及び小中学校等における新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策について ○報告事項
決 定 事 項 及 び 主 な 意 見 等	○意見交換 ・コロナに目が行きがちだが、暑さ、食中毒への警戒も必要である。 ・勉強の遅れが心配である。リモートでは補完できない部分もある。 ・カリキュラムをこなすことも大切だが、ゆとりを持って詰め込みすぎないようにしてほしい。地域と協力を。 ○報告事項 なし

発言者	発言の主な内容
企画部長	○開会の言葉
町長	<p>○挨拶</p> <p>新しく伊藤委員を迎えての会議は初めてである。この会議は町長と教育委員会で連携して教育行政、教育課題に取り組むためのものだと考えている。梅雨時に入ってきて、通常なら雨、豪雨を心配するところだが、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事案が発生している。</p> <p>国、県の非常事態宣言が解除され、6月1日からほとんどの規制が緩和され、日常を取り戻すため、新しい生活様式を取り入れながら、徐々に経済回復、感染症予防の徹底を行っていくというところではないかと考えている。通常の生活に戻りたいが、第2波への不安をお持ちだと思う。福岡でクラスター発生、東京でも感染者が出ている状況である。薬、ワクチン等がない限り不安であり、特に高齢者の方々、基礎疾患のあるの方々など、予防、医療の体制が確立されていないので、協調意識をもって、うつさないように、うつされないように取り組むしかない。医療の現場の中でたくさんの方が活躍しているが、そういう方の不安を取り除きたい。通常登校が始まり、保育、介護等の仕事をしている人も大変な不安の中で働いている。そういう方の応援をしたいし、活躍してもらいたい。</p> <p>6月の広報で、50の施策を掲載したが、あらゆる階層、あらゆる職種の方々になんらかの形の支援をしていく、そのつもりで載せたものである。</p> <p>5月にまず4本柱ということで、臨時の補正予算、これは国の関係の事業をメニュー化したものである。6月1日に始まった定例会では、二次の補正予算で、広報に載せたほとんどのものを議会にお願いして進めていく。教育関係では小学校、中学校、高校、大学の全て支援をしていく施策を打ったつもりである。あくまでも、暮らしを守る、営みを支援する、感染拡大を防ぐ、という3つの項目の中で、国費を含んで54億円を配分していく。6月の補正予算の成立を待たずに、さらに第三次、次の補正予算も考えている。</p> <p>国や県が小中学校に100万円から200万円、私立の保育園に10万円を、という事業も始まってきている。特に小学校1年生に何かしてあげたい、大学生には今の支援でいいのか、これから生まれる子どもにも何かしてあげたい、という気持ちはある。しかし、お金には限りがあり、繰越金やふるさと納税などのお金をほとんど使ってしまうという気持ちはあるが、一番は子どもたちを育てる親、その支援しなければならないと考えている。異論、いろいろな意見があると思うが、子どもたちよりも、子どもたちを支える親、働く人たちをまずは支えないといけないと思っている。その施策を打っていきたいと思っている。</p> <p>本日は幸田町の保育園及び小中学校等における新型コロナウイルス</p>

	<p>感染症対策及び緊急経済対策について、ということで、意見交換を予定している。皆様の様々な視点の意見を、忌憚なくいただくことで会議を進めていきたいと思っているので、よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>○挨拶</p> <p>総合教育会議は法律で決まっております、開催することとなっているが、法律で決まったからやる、ということではなく取り組みたい。始まったのは大津市でいじめがあったことがきっかけだと記憶している。教育委員会制度の見直しがあり、市と教育委員会が連携できていないのでは、ということで始まった。しかし、幸田町では以前から定例教育会議に町長に出席していただいております、制度が変わるまでもなく既にできていたことで、その点はよかったと思う。町長が教育に関心を持って、これまでも毎月1回教育委員と話をしていた状態であった。制度ができたことで、テーマを絞って、年2回このように開催していただけるのはありがたい。町長、副町長に来ていただいております、重きを置いていただいている。</p> <p>本日は新型コロナウイルス感染症に関して、ということであるが、目の前には子どもがいるが、世界、日本の動きにも影響される。9月入学が先日まで議論されていた。今年の遅れは取り戻せるが、今から9月までに制度を整備できるかという、できない。先生たちは9月入学の準備をしながら、遅れた授業を取り戻さなければならない。どちらも初めてのことで、先生の数を2倍にしても足りないくらいだと思う。最初から実現不可能だと思っていた。良い悪いではなく、今年の9月は無理である。現場を分かっている人が議論しているからこのようなことが起きる。瞬間的に無理だと分かることのはず。</p> <p>卒業を一月遅らせるとか、年度を一月遅らせるという議論も見かけるが、それもどうするのか。国の制度が変わったら従うしかないが、目の前の子どもが、安心して学校に行き、卒業し、幸せな家庭を築くことができるようにすることが大事である。授業が遅れていることは大きな問題だが、成績がオール1なら幸せではない、オール5なら幸せかというそうではない。幸せなこと、知識をたくさん持っていることとは別である。勉強が遅れることは大変だが、子どもたちを幸せにすることはできるはずである。今年できることをしっかり、子どもたちを見てやっていきたい。それがこの仕事でもあり、学校の先生の仕事である。今日は、委員さんや町の皆さんにも色々なご意見をいただきたい。</p>
企画部長	○総合教育会議の概要について説明

町長	<p>○議題(1)意見交換</p> <p>「幸田町の保育園及び小中学校等における新型コロナウイルス感染症対策及び緊急経済対策について」</p> <p>まずは、こども課に説明を求める。</p>
こども課長	<p>1 町立保育園、認定こども園及び地域型保育事業所等</p> <p>4月13日(月)から5月29日(金)まで登園自粛のお願いをした。防止策として、職員用マスク及び消毒液を配布した。</p> <p>2 児童館及び多世代交流施設</p> <p>同じ期間だが、4月13日(月)から5月31日(日)まで休館とした。この間、児童厚生員は館内の清掃や工作物の制作等、開館はしていないが準備業務を行っていた。6月2日から開館しており、10時から11時の1時間で消毒作業をし、11時から開館している。</p> <p>3 放課後児童クラブ</p> <p>3月2日(月)から3月23日(月)まで、小学校の休校が急きょ決定し、通常は3時から6時半で開催していたものを変更したものである。70人で運営しているが、臨時で40人を雇用し、緊急事態に備えた。春休みに通常やっていた方を前倒ししてお願いしたり、職員の息子さん、娘さんをお願いしたりするなどして児童クラブを支援した。</p> <p>4月13日(月)から5月29日(金)まで、小学校の自主登校教室が日中にあつたため、午後3時から児童クラブに引き継いだ。資料の2ページは、4月27日時点の内容だが、合計の1,015人が園児数、400人が出席ということで、6割の方に自粛していただいた。職員は290人いるが、実際には197人が出勤し、7割程度出勤してもらった。残り3割は、自粛に伴い、必要がなくなった部分もあるが、職員のお子さんが小学校、保育園に通っていて、自宅で面倒を見ていた、ということもある。続いて、資料の3ページは、4月の児童クラブの利用状況である。左の通年が、4月は17日間あり、3時以降6時半までのもの、右の長期は3日間、1日から3日の春休みの期間で、朝からみていたものである。全体で584人の登録があるが、平均児童数は149.2人ということで、約4分の1となった。長期の方も、5分の1である。多くの皆さんに自宅でみていただいた。</p> <p>4 子育て世帯支援策</p> <p>(1) 町立保育園給食費免除(3歳以上児)</p> <p>3歳以上というのは、去年の10月から保育料が無料となっているが、給食費は4,500円出ている。自粛した3歳以上児について、4月分及び5月分の給食費を免除した。</p>

	<p>(2) 町立保育園保育料免除（3歳未満児） 保育料が無償化ではないので必要となるが、登園を自粛した3歳未満児について、4月分及び5月分の保育料を免除した。</p> <p>(3) 子育て世帯への臨時特別給付金（町独自給付分は、6月補正予算） 6月補正に計上している、子育て世帯への臨時特別給付金である。児童手当を受給する世帯（0歳から中学校卒業までの児童がいる世帯）に対し、児童1人につき国から1万円が支給されるが、町独自給付分をさらに1万円上乘せして、合計2万円を支給するものである。6月29日に支給予定である。</p> <p>(4) 遺児家庭臨時給付金（6月補正予算） ひとり親家庭等の支援、これはすべて幸田町独自の支援策である。対象児童1人につき2万円の臨時給付金を支給する。7月10日に支給する予定としている。</p>
町長	○説明に対する意見聴取
立花委員	○意見 保育園で子どもが対面にならないようにとか、衝立を立てたり、給食の時間をずらしたりと、各園で努力しているのを感じている。子どもが小さい分、言ってわかる年齢の子もいるが、そうでない子もおり、消毒やマスクなど、なかなか難しい。これからの季節、マスクは厳しくなってくるし、食中毒警報も出る時期である。保育園の給食や食材管理など、コロナに目がいきがちだが、そういったものも気になる。
長谷委員	○質問 西尾では早く休みになり大変らしいが、幸田町は融通を効かせてくれてありがたいということを聞いた。母親1人で、どうしても仕事に行かなければならないときもあれば、仕事が休みになる、ということもあるが、そういうときの費用はどうなるのか。見てもらったり見てもらわなかったりするの。会社のことは会社がやってくれるように思うが。
町長	お母さんの休業ということか。
長谷委員	そう。
町長	親の働き先への休業要請は町としてはしていないと思うが、休業の場合の費用は国の制度ではないかと。会社がやってくれるように思えるが、フリーでやっているのか。

長谷委員	フリーだと思う。
町長	<p>フリーの人は自分でやらないといけないのでは、と思うが、この場ではお答えできない、どこへ問い合わせたらいいかは調べてお答えする。</p> <p>それから、補足をしたい。米の生産農家の方、野場の方であるが、米を700キロ、私立の幼稚園関係にたくさん提供いただいた。このような民間の支援もある。また、立花委員の意見に関して、空気清浄の問題として、今考えているのは、50万円程度の100パーセント助成で、次亜塩素酸を使った空気清浄機を各保育園に、町内にパナソニックもあるので、1台ずつ今後入れていこうかという考えもある。</p> <p>雇用の面で、天の丸の従業員にほとんど仕事がない、という相談をいただいて、放課後児童クラブで2人採用して仕事をしていただくという実績もある。</p> <p>また、非接触型の検温器を本部、健康課で買い、配っているところである。そういった対応も少しずつやっている。</p> <p>今後、第三次の補正があるならば、私立の幼稚園への助成や、次亜塩素酸の空気清浄機の導入、地元の商店街の和菓子屋や洋菓子屋も消費がされないこともあり、保育園のおやつに変わったものが出せたらいいな、月に何回か出せないか、と指示しているところ。まだ予算はない状態だが補足させてもらった。</p>
町長	<p>○議題(1)意見交換</p> <p>「幸田町の保育園及び小中学校等における新型コロナウイルス感染症対策及び緊急経済対策について」</p> <p>続いて、学校教育課に説明を求める。</p>
学校教育課長	<p>1 小中学校の臨時休業実施について</p> <p>小学校は4月7日から、中学校は4月8日から5月24日まで臨時休校した。</p> <p>2 学校教育課の対応</p> <p>臨時校長会議の開催、養護教諭連絡会議・研修会の開催、メール配信等を行った。養護教諭連絡会議の研修会では、講師に藤田医科大学の石原教授をお招きし、「学校における新型コロナウイルス感染症予防対策について」ということで研修会を開き、感染症予防の具体的な対応の周知を行った。</p> <p>3 臨時休業中の小中学校の対応</p> <p>学校には子どもたちが来られないため、小学校では、課題の受け渡しは主に保護者による来校、各家庭を担任が回って郵便ポストに配布、家庭訪問等を実施した。中学校においても、地区単位、あるいは学年単位で課題の受け渡しや学習相談のための分散登校等を実施した。</p>

	<p>4 自主登校教室の運営 小学校の臨時休業中に小学生だけで過ごすことが困難な家庭を対象に自主登校教室を実施した。開設時間は午前8時から午後4時で、小学校の教職員が監督をして、資料の期日で実施、実績も資料のとおりである。</p> <p>5 夏休みの取り扱い 今回、通常は7月21日から8月31日までの夏休みであるが、夏休み期間は8月8日（土）から8月23日（日）、8月29日（土）から8月31日（月）ということで19日間と短くなっている。</p> <p>6 給食センターの対応 コロナ対策ということで、給食も5月29日（金）まで停止という状況である。給食の再開は6月1日からで、1学期中の給食は8月7日（金）までで調整中。コロナ対策ということで、主食をパンや麺とし、個包装にしている。また、配膳に配慮した献立実施ということで、2品から1品に変えて配膳を少なくしている。それから、ごみ回収方法の変更として、今まで児童生徒が牛乳パックを洗浄して分別していたが、1学期中は業者処分を実施している。</p> <p>7 学校への配布物 消毒用アルコール、ビニール手袋、マスク、非接触型体温計、フェイスシールド、感染予防セット（養護教諭用）等を配布している。フェイスシールドについては、町内の鈴木化学さんから入手して、全小中学校に配布して、授業時に先生が着用して活用している。</p> <p>8 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 これは6月補正を予定している。給食費実費徴収金無償化、小学校では1食240円、中学校では1食270円の実費徴収金を、1学期分を無償化する。6月1日（月）から8月7日（金）の48食分である。また、学習支援用図書カードの中学生への配布として、町内在住中学生約1,400人に1人1万円の図書カードを配布し、家庭学習の支援を予定している。</p> <p>資料にないが、幸田町産米消費支援事業として、産業振興課が行うが、小中学校の就学援助、経済的に少し苦しい児童生徒へ、お米10キロの支援ということで、300人程度に支援を行う。</p> <p>また、学業資金貸出事業ということで、社会福祉協議会の事業であるが、大学生に対する上限50万円の学業貸出支援を実施する。対象は100人程度を予定している。</p>
町長	○説明に対する意見聴取
山下委員	○意見 今までの経験が参考にならない非常事態というように思うが、幸田町というコンパクトで少し田舎にあるまちということで、対応のバラ

	<p>ンスがいいと感じた。都市部では厳しいと聞く。ただ、勉強の遅れは気になる。9月入学の話が出たときに、今年の導入は100パーセントありえないと思っていた。大学生がリモートでかなりやっているようだが、学生話を聞いてみると、一生懸命やっているということも聞くが、話を聞いていないような学生もいると聞いた。リモートで補完ができるかというところ、幸田町では感染者も出ていないということで、プレッシャーもかかると思うが、現状どおりうまく進めてもらえればと思う。</p>
伊藤委員	<p>○意見</p> <p>子どもが下校するときなどに様子を見に行ったりしているが、下校時は暑い中帰ってくるので、これからが特に心配である。保護者も心配していて、途中まで出迎える親御さんも多い。8月7日まで学校があるということで、一番暑い時なので、どうクリアしていくかということが大きな問題だと感じる。保護者や、地域でいろいろな役割をいただいている人もいますので、連携を取って、子どもたちが健康面で熱中症などにならないように気を付けていく必要があると思う。特に1年生は、距離が遠い子はランドセルを背負っていくことが難しい。一番大事な2か月がなくなっているので、学習面や、生活面で子どもたちを育てていくということを丁寧にやっていくことが必要かな、と思っている。</p> <p>学習の遅れも、決められたカリキュラムをこなしていくということももちろん大切だが、意欲をどう育てていくか。それぞれの学校で取り組んでもらうことであるが、時間数などのカリキュラムにあまりこだわりすぎると、先生にもプレッシャーになる。詰め込むのではなく、なるべくゆとりを持てるよう配慮してほしい。幸田町は地域の協力を得られるところなので、協力をお願いしていきながら取り組んでほしい。</p>
町長	<p>町長</p> <p>学業の遅れは大きな課題である。夏休みの取り扱い、8月の初旬までと、お盆が終わってしばらくの登校、初めての体験である。エアコンは普通教室に整備したものの、猛暑であることは間違いない。そのときに地元の皆さん、防犯や交通安全の活動を展開されたいとおっしゃる区長さんもいる。日進市では首に巻くクールタオルを配るとか、常滑では学校でペットボトルのお茶を用意するなどしている。</p> <p>大学生に50万円の貸付、100人で5,000万円くらいをこれから出していこうと考えている。補正予算は成立していないが、学業にかかるお金は大変なもので、授業料とか、県外で下宿していると家賃等もある。貸付という形になってしまったが、大変な時代を迎えている学生に支援をしたいと考えている。</p>

町長	<p>○議題(1)意見交換</p> <p>「幸田町の保育園及び小中学校等における新型コロナウイルス感染症対策及び緊急経済対策について」</p> <p>最後に、生涯学習課に説明を求める。</p>
生涯学習課長	<p>1 各施設の運営</p> <p>4月10日に県独自の緊急事態宣言が出され、それ以降はすべての施設を利用中止にし、申込みの受付も中止していた。宣言の解除があり、段階的に解除していくという方針が示されたので、幸田町も6月1日以降、段階的に再開している状況である。</p> <p>①から⑱までは6月1日から再開しているが、利用者の人数は制限をしている。例えば、会議室なら人数を半分までなど。また、防音室のような密閉空間は、当面控えていただくような運用をしている。</p> <p>⑳の学校開放のための各学校体育館、武道場、卓球場及び運動場は、学校運営がまだ落ち着いていないことや、子どもたちの学び舎にウイルスを持ち込まないようにするため、当面制限する。西三河では、7月1日から解放を進めてくという情報もあり、情報収集をしながら検討していきたい。</p> <p>2 今後の主なイベント開催</p> <p>生涯学習課は大きなイベントを実施しているが、こうた夏まつり、文化講演会は中止である。町民大運動会は、タイミングを見計らって開催の可否を発表したい。1月の、こうた凧揚げまつり、成人式、駅伝・ジョギング大会も状況を見て判断していきたい。基本的な考え方としては、不特定多数が集まるイベントは非常に慎重に開催の可否を決めないといけない。人が集まれば、知らないうちにうつる、クラスターが発生するという可能性はある。</p> <p>なお、その他の各種教室・講座及び大会については、開催の可否について随時決定していくが、8月まではほぼ中止または延期である。学校の夏休みが減ることもあり、その期間中のものは中止にし、まずは学校の運営を落ち着かせることに協力していきたい。9月以降は様子を見ながら、利用者の声を聞きながら、開催の可否を考えていきたい。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対策予算（6月補正予算関係）</p> <p>6月補正で予定しているものである。教育団体活動促進補助金は、100万円である。練習する場、発表する場がなく落ち込んでいるのを見て取れる。追加の補助をして、例年にはない発表の場を用意したい。</p> <p>町民会館指定管理料は、キャンセルが相次ぎ、減収分を補填するものである。</p> <p>施設内休業要請協力金は、緊急事態宣言が出たとき、カメラには他よりも早めに協力いただいたため、それに対するものである。これ</p>

	<p>は、幸田町独自で行うものである。</p> <p>町立図書館図書消毒機の購入は、図書を消毒する機械が今までなかった。紫外線を照射して殺菌するもの。これを機に1台導入したい。</p>
町長	<p>以上で全て説明が終わったが、それと議題の(2)の報告事項を併せて、各委員から御意見、御質問を賜りたいがどうか。</p>
委員	<p>○意見 特になし</p>
町長	<p>本日は貴重な御意見をありがとうございました。それでは、事務局にお返しする。</p>
企画部長	<p>○次回の開催予定 第2回は11月5日（木）午前9時から開催を予定している。</p>
副町長	<p>○閉会挨拶</p> <p>本日は第1回総合教育会議にお忙しいところ御出席をありがとうございました。意見交換の中で、貴重な御意見をいただいた。説明にあった豊明の藤田医科大学の石原副学長のところへお邪魔させていただいたが、アビガンの治験を行っている。総理は5月中の認可をとということだったが、自然治癒なのか薬が効いたのかがなかわからず、10月から11月頃かな、と言っていた。学生のリモートの話も、月に3回くらい東京に行っているが、オンライン会議で十分足りてしまう、移動の時間も必要ないし、費用もかからず、これからはそうなるのでは、と言っていた。</p> <p>皆さんの御意見を町政各般にわたって参考にさせていただき、また、今後も御理解と御協力をお願いを申し上げて、お礼の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>